

日常生活のなかで 環境への影響を考え 03 できることから実行する。

環境問題の現状

環境問題の大きなトピックはやはり地球温暖化です。その影響は年々深刻度を増しており、2006年2月に開催された国連「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の報告によりますと、現在のペースで地球温暖化が進んだ場合、今世紀末には地球の平均気温が6.4度も上昇し、北極海の氷は2040年頃に消滅。その他多くの地域で氷河が融解し、水源の崩壊が進むのは「ほぼ確実」との見解を示しました。

世界各地で頻発する巨大台風や集中豪雨、干ばつ、極端な暖冬などは、地球温暖化による影響との見方が濃厚です。また海面水位の上昇により沈み始めている島国もあるほか、海水温の上昇でアジアでは30年後に30%のサンゴ礁が消失するという予測も出ています。地球温暖化の原因については様々な議論がなされてきましたが、今回のIPCC報告書では人間活動が原因とほぼ断定し、一刻も早い対策を求めています。

身近にできる環境・エコ対策

地球温暖化を食い止めるためには、二酸化炭素の排出量を減らすしかありません。そのためにはまず、石油などの化石燃料(製品)の使用を控えることです。また、地球温暖化によりもたらされる影響を少しでも軽減するため、資源を大切に、有効に活用することが求められます。これらの点に着目して、以下のような生活を心がけるようアドバイスしましょう。

- ①暖房・冷房は控えめに設定し、石油・ガスの燃焼をなるべく抑えること。電力も火力発電などで供給されていることを意識し、できる限り節約する。
- ②極力、自動車の利用は避け、公共交通機関を利用する。

- ③可能な限りレジ袋をもらわず、マイバッグを用意・利用する。
- ④割り箸・紙製品の利用を控える。森林伐採により二酸化炭素の吸収量が減るばかりでなく、保水能力の低下による洪水、深刻な生態系の崩壊など、多大な影響が出ている。
- ⑤ゴミの分別を徹底し、ビン、紙製品、アルミ缶などの資源ゴミは再利用にまわす。
- ⑥水を大切に使う。水源の減少は人ごとではない。油や洗剤などが混入した汚水処理にも気を配り、生態系の破壊や河川・海の汚染を防止する。

◆ ボランティアに参加しよう

column

ボランティア活動に関心をもつ学生は多いのですが、どうすれば始められるかがわからないという質問が多く寄せられます。そのような場合、各自治体のボランティアセンターに相談するのがよいでしょう。専門のスタッフがボランティアに関する情報提供や、活動を開始するにあたってのアドバイスをしてくれます。また、各ボランティア団体などが開催しているボランティア講座やセミナーに参加してみるのもよい方法です。

なお、実際に始めるにあたっては、

- ①無理をしない
- ②約束やルールを守る
- ③活動の様子などをよく聞く
- ④悩みは一人で抱え込まない

などの点に気をつけましょう。また、ボランティア活動が無条件に「善」であるという保証はありません。正義感や善意の押し売りにならないよう、援助する相手や関係者といつも対等な立場で活動する必要があります。活動が受け入れられ喜ばれてこそ、有意義なボランティアとなるのです。